

次代の組織づくりへ

専門工事業を変えていくのは鉄筋から

30 年新年互礼会に約 100 人が出席

組合の平成 30 年新年互礼会が 1 月 12 日、大阪市のリーガロイヤルホテルで開催され、来賓、組合員、賛助会員ら約 100 人が出席して新たな年のスタートを祝福するとともに、今年一年の更なる飛躍が誓い合われました。

冒頭の挨拶で岩田理事長は「働き方改革の中で、職人の処遇を改善しない限り人が入って来ないということを国や建設業団体も認識し、取り組むべき方向性は一致している」と指摘。そして自身が全国鉄筋工事業協会の会長に就任したことに言及し「今後 10 年で次の時代を作っていくことが私に課せられた役割だと考えている。そのための人事や組織づくりを大胆に行っていきたい。専門工事業を変えていくのは全鉄筋から、全国を引っ張っていくのは関西からという思いで取り組んでいきたい」と意気込みを述べました。続く来賓挨拶では中山泰秀衆議院議員、國重徹衆議院議員、建築社会システム研究所の古阪秀三所長がそれぞれの立場から祝辞を述べ、組合の一層の飛躍に期待を寄せました。

引き続き、昨年 11 月に行われた「TETSU—1 GRAND PRIX」で優勝した谷口圭さん（富田興業）と全鉄筋の会長に就任した岩田理事長に、田中副理事長らから記念品が贈られました。この後、田中副理事長が今年の干支であるイヌ年にちなみ「今年をワンダフルな 1 年にしよう」と呼びかけて全員で乾杯し、和やかな歓談へと移りました。



岩田理事長 挨拶



田浦副理事長 乾杯挨拶